MUSEUM NEWS

2021.4 ► 2021.5

コレクション ４つの水紋

とき・3/23(火) ～ 5/16(日)

※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:3/23(火)～4/25(日)、後期:4/27(火)～5/16(日)

ところ・2階展示室

内容・本展では、新印象派の画家ポール・シニャックや埼玉ゆかりの日本画家奥原晴湖など、４作家の作品を中心に、幅広くコレクションをご紹介します。それぞれの作家の画風などの特徴をキーワードに、思いがけない作品同士のつながりをお見せします。あたかも、静かに緩やかに広がっていく波紋のように、４作家を起点として豊かに展開するコレクションの多彩さをお楽しみいただければ幸いです。

観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)

※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

〇ミュージアムコンサート(動画配信)

川嶋哲郎×竹澤悦子～響きの紋様　綾なす聲

出演・川嶋哲郎(サックス、フルート)
竹澤悦子(箏、十七絃、歌)

内容・ジャズ、日本伝統音楽という異なる分野で活躍している彼らの音楽が展示作品をきっかけに波紋のように交錯し、さらに豊かな音楽に昇華するのをお楽しみください。美術館内で演奏した様子を会期中にYouTubeで配信します。

当館 YouTube チャンネルは こちらから

MOMAS コレクション (収蔵品展)

2020年度 第4期

とき・3/23(火) ～ 4/18(日)

ところ・１階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※　(　)内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セレクション:コレクションの誘惑 ー あつめて、ならべて

「あつめて、ならべる」ことをテーマに、キスリング《赤いテーブルの上の果実》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇「MOMASのとびら」のむこうがわ

アート体感ワークショップ「MOMASのとびら」で発見されたコレクションの新たな魅力を、これまでの活動を振り返りながら紹介します。

◇日本画の視点

近代日本画における空間の捉え方に焦点を当て、コレクションを紹介します。

小村雪岱《菊》

◇リサーチ・プログラム:関根伸夫と環境美術

美術家・関根伸夫(1942-2019)による環境美術の仕事を、写真、図面、スケッチブック、映像等で紹介します。

2021年度 第1期

とき・4/24(土) ～ 7/11(日)

※　会期中一部作品の展示替えがあります。
前期:4/24(土)～5/30(日)、後期:6/1(火)～7/11(日)

ところ・１階展示室

観覧料・2020年度第4期の観覧料と同一です。

◇セレクション

パブロ・ピカソ《静物》ほか、MOMASコレクションの名品を紹介します。

◇さいきんのたまもの

過去3年の間に、新たに当館に加わった作品をお楽しみください。

パブロ・ピカソ《静物》1944 年
© 2021 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)

《関連イベント》

〇サンデー・トーク

4･5月の実施は未定です。
実施については、決まり次第、HP等でお知らせします。

アート体感ワークショップ

MOMAS のとびら

全プログラム事前予約制です。
当館ホームページからお申込みください。

《4月のプログラム》

4月分のお申込みは3/1(月)から受け付けています。

〇フリープログラム

とき・4/3(土)、4/10(土)、4/24(土) 各日13:30 ～ 15:00
対象・どなたでも
費用・無料

※　各日、いくつかのプログラムを時間制で数回ずつ実施する予定です。

《5月のプログラム》

５月分のお申込みを4/1(木)から受け付けます。

〇フリープログラム

とき・5/1(土)13:30 ～ 15:00
対象・どなたでも
費用・無料

※　いくつかのプログラムを時間制で数回ずつ実施する予定です。

〇彫刻あらいぐま

とき・5/8(土)、5/15(土) 各日13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生＋保護者
費用・無料

〇みる＋つくる

とき・5/22(土)13:30 ～ 15:00
対象・小・中学生
費用・無料

※　ＭＯＭＡＳコレクション又は企画展のどちらかに関連した活動を行います。

※　各プログラムの実施時間等は変更になる可能性があります。
詳しくはHPをご覧ください。

「MOMASのとびら」のページ
https://pref.spec.ed.jp/momas/MOMASのとびら

一般展示室 (地階)

※　日程・内容は変更される場合があります。
※　展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆3/30(火)～4/4(日)
主体美術武蔵野作家展……一般展示室1
現代中国芸術国際交流展……一般展示室2･3

◆4/6(火)～4/11(日)
溪水会展……一般展示室4

◆4/13(火)～4/18(日)
さいたま閨秀１００選展……一般展示室1
フォト・トルトゥーガ写真展……一般展示室2

◆4/27(火)～5/2(日)
芳賀猛夫個展……一般展示室1
彩画展……一般展示室4

◆5/4(火)～5/9(日)
埼玉二科展……一般展示室1～4

9 年ぶりに発行

コレクション名品選カタログ

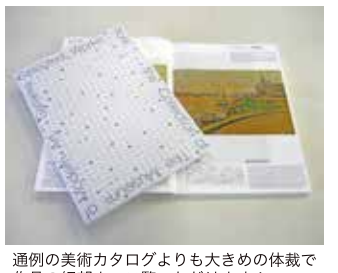
「コレクション　４つの水紋」の開催に合わせて、所蔵作品の代表作を紹介する「埼玉県立近代美術館コレクション名品選カタログ2021」を発行します。

コレクションカタログの発行は、2012年(平成24年)に発行した「たまもの　埼玉県立近代美術館のコレクションより」以来、9年ぶりです。

掲載作品数は、「たまもの」から101点増の236点となっており、この9年間の作品の収集及び調査研究の成果並びに当館コレクションの厚みを感じていただける内容となっております。

本書をとおして、当館コレクションの特色や魅力を知っていただけましたら幸いです。

価格・2,800円(税込み)
仕様・B4変形、252ページ、フルカラー
掲載作品数・236点
購入方法・ミュージアム・ショップにて販売します。


通例の美術カタログよりも大きめの体裁で作品の細部までご覧いただけます！

埼玉150周年記念展 埼玉の美術史 1871-1960

旧制中学校の美術活動ー熊谷と浦和から

2021年は、埼玉県が1871(明治4)年に誕生してから150周年を迎える年にあたります。その節目を記念して、埼玉県立近代美術館を会場に「埼玉150周年記念展　埼玉の美術史 1871-1960」(会期:6月1日～6月23日)を開催することになりました。この展覧会は、近代美術館のコレクションを中心に紹介しながら、明治初期から高度経済成長期にいたるまでの90年間に埼玉で育まれた美術の歴史をひもとく試みです。

ここでは、展覧会に関連して、戦前の旧制中学校における美術活動の一端を紹介します。旧制熊谷中学校(現・埼玉県立熊谷高等学校)で24年間にわたって図画教師を務めた大久保喜一(1885-1948)は、埼玉の近代洋画の歩みに大きな足跡を残しました。大久保は埼玉県児玉郡金屋村(現・本庄市)に生まれ、東京美術学校西洋画科で長原孝太郎らに学んだ後、1918年に熊谷中学校の図画教師に着任します。学校に勤務する傍ら制作にも励み、穏やかな色調と光の繊細な描写によって、中学校の教室など身近なモチーフをとらえた作品を多く残しています。その端正で透明感のある作品は、帝展で入選を重ね、中央画壇でも高く評価されました。

大久保は熊谷中学校の授業で木炭による石膏デッサンや油彩画の基礎など本格的な美術教育を行い、生徒たちの好奇心を掻き立てました。温厚な人柄も慕われたといわれ、木炭デッサンを消すための食パンを抱えながら少しずつちぎって生徒たちに投げる姿が印象的だった、と後に教え子が回想しています。《熊中正門風景》は当時の校舎の外観を伝えてくれる作品ですが、ここから須田剋太や里見明正といった県北(埼玉県北部)を代表する美術家が大久保の指導を受けて巣立ちました。また、埼玉で初めての洋画団体「坂東洋画会」の結成に尽力するなど、県北の洋画の普及と振興においても、大久保は重要な役割を果たしています。

大久保喜一《熊中正門風景》1935 年

一方、同時代の県南に目を向けると、1924年に福宿(ふすき)光雄(1901-1970)が旧制浦和中学校(現・埼玉県立浦和高等学校)の図画教師として着任し、26年間にわたって指導にあたりました。福宿は鹿児島出身で、一穂と号した日本画家です。東京美術学校図画師範科に入学して、川合玉堂や松岡映丘に学び、卒業後すぐに浦和中学校に就職しました。自身は日本画家でしたが、教え子として、彫金家で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された増田三男や、洋画家の高田誠、渡邉武夫など、技法の違いを越えて多くの美術家を輩出しています。また、福宿は生徒それぞれの良さを伸ばす優れた教育者であったといわれています。なかでも、高田誠は福宿の助言によって在学中から画家の跡見泰や相馬其一の指導を受け、4年生(16歳)のときに《浦和風景》で二科展入選を果たしました。

高田誠《浦和風景》1929 年

大久保や福宿のような魅力的な教師による指導は、本格的な美術教育に初めて触れた若い生徒の心をとらえ、進路を決めるにあたって大きな影響を与えたことでしょう。須田剋太や里見明正のその後の活躍や、戦後の埼玉県美術展覧会(県展)の開催に増田三男や高田誠が中心となって尽力したことを考えると、旧制中学校の美術活動が埼玉の近代美術史において果たした役割は、決して小さくなかったと思われるのです。(Y.T.)

執筆にあたっては以下の文献を参照しました。
『大久保喜一画集』、大久保喜一画集刊行会、1980年
水野隆『埼玉の画家たち』、さきたま出版会、2000年

ミュージアム・ショップおすすめ商品

名作と呼ばれる家具を次々と世に送り出した、天童木工。当館でも見ることができる柳宗理のバタフライスツールは、日本を代表するデザインとして国内のみならず海外でも高い評価を受けています。今回は、そんな天童木工の家具を手のひらサイズにした、ミニチュアファニチャーをご紹介します。リングスツールや、低座イスなど全6種類が揃います。ひとつひとつ箱に入っていますので、何が出るかはお楽しみ。プレゼントとしても好評です。まずはおひとつ、いかがですか。

天童木工　ミニチュアファニチャー
各 ¥500（税別）

編集後記

「埼玉150周年記念展 埼玉の美術史 1871 -1960」は、当館も共催する展覧会です。地域固有の美術の歴史を読み解く機会になるはずです。乞うご期待。(H.I.)

4つの水紋展は、ソカロ12-1月号でも特集しました。バックナンバーはHPに掲載していますので、よろしければ本紙とあわせてご覧ください。(M.H.)

埼玉県立近代美術館
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 **FAX**・048-824-0119 **URL**・https://pref.spec.ed.jp/momas/
代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
開館時間・10:00～17:30（展示室への入場は17:00まで）
休館日・月曜日（5/3 は開館）　**入館料**・無料　**観覧料**・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
※当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。
団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。

©埼玉県2005

※本紙記載の展覧会やイベントについては、新型コロナウイルス感染拡散防止のため、変更・中止となる場合があります。来館の際は、事前に当館ホームページをご確認ください。

発行・埼玉県立近代美術館　**編集**・平野到・真中博行　**原稿執筆**・菊地真央 / 佐伯綾希 / (G.R.) 五味良子 / (Y.T.) 吉岡知子 (埼玉県教育局文化資源課主任) / (H.I.) 平野到 / (M.H.) 真中博行